

伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

- 県産材三次元曲面加工に関する研究 - (第3報)

Development study of the traditional works which adopted design awareness
- Study on the technique of wood processing to form the three-dimensional curved using regional specialty woods of Aomori - (Part 3)

濱田 圭、舘山 大

本研究は、高額設備を使わない三次元曲面加工技術を開発し、県内の木工業界の活発化を図ることを目的としている。

平成 28 年までに試作した、板膳、スツール、スマートフォンスタンド（写真 1）について、試作品が顧客のニーズにマッチしているかをはかるため、県内外観光客など 10～60 代の男女を対象にアンケート調査（写真 2）を実施した。その結果、スツール、板膳については商品化について特に問題はなかったが、スマートフォンスタンドについては「スマートフォンの機種によるスピーカー位置の違いに対応してほしい」という意見があり、研究会で検討し、この意見に対応したデザインに変更することとした。

スピーカー位置に対応する部分（下部、底面、背面など）を変更可能とするため、スタンド部分とホーン部分を分離式とし、ホーン部分は 3Dプリンタによる型を使用した成型加工技術で加工した。

次年度は、これまでに開発した技術を視覚化した資料にまとめ、技術講習会や個別指導により技術の普及を図るとともに、これらの技術を活用して開発した製品の商品化を支援する。



写真 1 スマートフォンスタンド



写真 2 アンケート調査